

アスベスト統一書式報告書対応可能です！！

数十年後に健康被害を起こす可能性を秘めているアスベストについて、今後ますます増加する解体工事等に伴うアスベスト暴露を未然に防ぐ為、解体工事前の事前調査が重要なウェイトを占めています。

石綿則の制定以降、アスベストを調査する検査機関が増加する一方で、各検査機関の事前調査報告書の記載内容に違いがあったため、一部の検査機関の報告書記載内容について問題視されていました。

そこで…

厚生労働省の委託を受け、(社)日本作業環境測定協会により、石綿障害予防規則第3条第2項に基づく事前調査(解体前の石綿含有の調査)において、使用推奨の統一報告書書式が作成されました。

当社でも、「石綿障害予防規則第3条第2項に基づく事前調査における石綿分析結果報告書」による結果報告が可能です。建築物解体時における石綿含有事前調査の際は、是非ご利用ください。

保存40年

平成 21年 月 日

報告書(証明書)番号

石綿障害予防規則 第3条第2項に基づく
事前調査における石綿分析結果報告書(証明書)

〇〇建設株式会社 様

貴社より委託を受けた石綿分析の結果は、下記に記載したとおりであることを証明します。
ただし、本分析の結果は、入手した試料の範囲に限定させていただきます。

記

1. 分析を実施した石綿分析機関

① 名称	内藤環境管理株式会社	② 代表者氏名	取締役兼石綿分析部部長 関口和弘
③ 所在地	埼玉県さいたま市南区大字太田窪2051番地2 TEL: 048-887-2590 (代表) FAX: 048-886-2817		
④ 登録番号(作業環境測定機関)	11-06		
⑤ 連絡担当者	具井 繁雄		

2. 分析を実施した年月日

⑥ 分析実施日	平成 21年 11月 1日 ~ 平成 21年 11月 13日
---------	--------------------------------

3. 物件名称

⑦ 物件名称	平成21年度〇〇県会庁庁舎石綿除去改修工事
--------	-----------------------

1/2

統一書式の例(一部抜粋)

統一書式利用のメリット

報告書記載内容が豊富で、この報告書で採取箇所や試料の状況、分析に関する詳細等が網羅できます。

全ての分析に測定フローが添付され、分析工程が確実に把握できます。

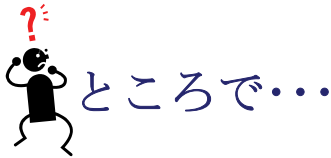
全国規模の統一書式であるため、自治体等への報告、説明が容易になります。

統一報告書利用時の注意点

報告書記載事項が従前より増えるため、採取時に確認を要する情報が増えます。

統一書式の報告書発行手数料が、分析料金に加えて別途必要となります。






アスベストの調査結果は、全て統一書式による報告が必要となるのか？
また、解体以外の場合はどう扱うべきなのか？

現段階では、統一書式については法令書式ではありませんので、統一書式での報告が義務付けられているわけではありません。また、あくまで石綿則第 3 条に基づく事前調査が対象となるため、解体時以外は統一書式を使用する必要はありません。

当社では、解体以外の検査目的による分析については、従来から発行している当社書式により結果をご報告させていただきます。報告書書式に関してご不明な点は、下記までお問い合わせください。

NAITOH Environmental Science Co.,Ltd.
2051-2, Daikoku Minami-ku, Saitama-shi.
SAITAMA, 336-0015 JAPAN
Phone: +81-48-887-2590
FAX: +81-48-886-2817


 The Knights
 (報告番号 00000000-1)

試験検査結果書

報告先名 : ○○○株式会社 様
 試料名 : ○○建物
 検査目的 : 石綿障害予防規則
 採取場所 : ○○小学校階○教室壁
 採取月日 : 平成○○年○月○日
 収集区分 : 持込
 特記事項 : 件名:平成○○年○○小学校建築改修工事

石綿の種類	石綿含有の有無の確認(定性分析)		石綿含有率(定量分析) X線回折分析法 (%)
	分散染色分析法による結果	X線回折分析法による結果	
クリソタイル	3000粒子中に石綿繊維は4繊維未満	石綿の回折ピークが認められない	—
アモサイト	3000粒子中に石綿繊維は4繊維未満	石綿の回折ピークが認められない	—
クロソファイト	3000粒子中に石綿繊維は4繊維未満	石綿の回折ピークが認められない	—
トレモライト/アクチノライト	3000粒子中に石綿繊維は4繊維未満	石綿の回折ピークが認められない	—
アンソファイト	3000粒子中に石綿繊維は4繊維未満	石綿の回折ピークが認められない	—

吹付けパーミキュライト中の石綿含有の有無の確認(X線回折分析法による定性分析)
 パーミキュライトの回折ピークが認められる

クリソタイルの回折ピークは標準試料の積分強度以下	トレモライト/アクチノライトの回折ピークは標準試料の積分強度以下	判定
		不検出

判定	石綿含有せず	基準値	0.1%を超えないこと
試験検査方法 : JIS A 1481:2008 備 考 : トレモライト/アクチノライトは判別が困難なため、両者の総量による結果となります。			

平成○○年○月○日に受領した試料の試験検査結果は、上記の通りであったことを報告します。
平成○○年○月○日

作業環境測定機関 埼玉労働局長登録 登録番号 11-6
内藤環境管理株式会社
 埼玉県さいたま市南区大字太田窪2051番地2 〒336-0015
 TEL.048-887-2590(代表) FAX.048-886-2817
 第1種作業環境測定士 瀬田 洋一郎

当社書式のメリット

定性分析、定量分析、パーミキュライト分析等の結果概要を1枚の報告書に集約しており、各検体の結果把握が容易に行えます。(別添資料として、X線回折チャート等が添付されます。)

報告書に記載している情報は、アスベスト判定がひと目でわかるよう厳選してあるため、報告書自体も見やすくなっています。

統一書式よりも多検体・短納期での対応が可能であり、報告書発行料金※1等もかかりません。(注1:3部以上は追加料金が必要となります。)

当社書式の例 (一部抜粋)

しかも！！

当社は、(社)日本作業環境測定協会主催のクロスチェック事業において**最高のAランク**※2を取得しており、高い精度での分析結果を保証いたします。(※2:統一書式にはその旨記載されます)

アスベスト分析は、「正確・迅速・親切」な当社にお任せください！！

お問い合わせ、ご依頼は

フリーダイヤル 0120-01-2590 営業担当 : _____

技術担当 : 加藤(吉) (内線 346)
守屋 (内線 378)



The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪2051番地2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL:http://www.knights.co.jp